

# 地形による多様な活動を誘発する建築に関する研究 -横須賀市追浜駅周辺の谷戸地域を事例として-

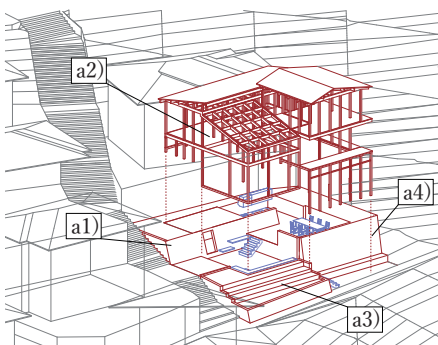
山家研究室 鈴木 杏奈

**研究概要：**横須賀市追浜駅周辺の谷戸地域を対象として谷戸の空間構成について調査分析を行い、調査に基づいて谷戸の風景を作り出す要素を抽出した。それらを組み合わせながら追浜の谷戸地域の3つの敷地を対象に設計を行い、谷戸の空間的魅力を活かした建築を計画する。

**研究目的：**人口増加に伴い造成された土地での建築の在り方は、人間と建築、大地との繋がりを切り離し、自分の居場所を自ら創り出そうとする力を育むきっかけを奪っている。一方で谷戸地域の住宅地では高低差の激しい地形や擁壁によってできた地形による複雑性によって創造的な行為を生み出している。本研究は谷戸地域の地形的課題を魅力的な風景と捉え、要素を抽出し、住まいを構成する設計手法として示すことで、自ら使い方を創造できる建築と周辺とのつながりを提案することを目的とする。

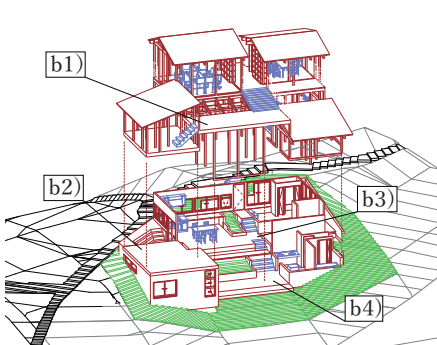
## 研究成果：

SITE A 地域の畑食堂  
(1F食堂、2F住宅)



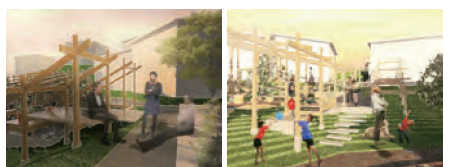
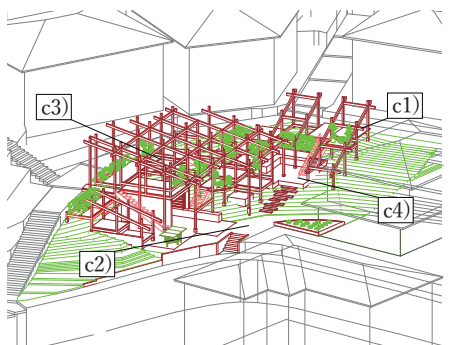
a1)内包する擁壁 a2) 開放的な内部

SITE B 創造の場  
(1Fシェアハウス、2Fワークスペース)



b1)屋根上バルコニー b2)道と擁壁の関係

SITE C 周辺の延長の場  
(共有の庭)



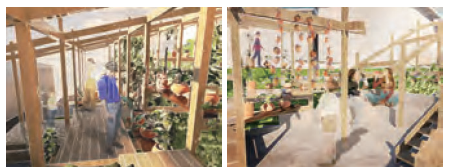
c1)道と敷地の関係 c2)広場の様子



a3)段々畑の様子 a4)擁壁のセットバック



b3)連続する擁壁 b4)広間の様子



c3)植物との関係 c4)休憩所の様子

## 苦労した点や感想など：

機能的重視の建築の建ち方に疑問を感じ、まちにあるものを活用し、街全体を遊び(多様な活動)のフィールドにできないだろうかと考えていました。そこから、谷戸の地形なら多様な行為を生み出せるのではないかとという発見に至るまでに時間がかかり、また抽出した要素を組み合わせ、形とすることに苦労しました。